

勇壮に連なる伝馬船 小木とも旗祭り



5月2日「小木とも旗祭り」が行われました。長さ約20
 ㍎、幅2.5㍎にも及ぶ大きなとも
 旗が、早朝の5時「触れ太鼓」を合
 図に起こされ、2日間に及ぶ祭りが
 始まりました。とも旗が掲げられた
 9隻の伝馬船の上では若衆が太鼓や
 笛を演奏し、小木港や九十九湾を巡
 行しました。

昼には新町内会のとも旗制作に
 取り組んだ小木、柳田中学校の3年
 生計39名も参加し、青空にそびえ立
 つとも旗を眺め、取り組みの成果を
 確認しました。このとも旗には、小
 木中3年生の坂口歩さんが考案した
 文字「春風夢煌海」が書かれていま
 す。この5文字には小木の海に夢の
 実現を誓う思いが込められていま
 す。

3日は、御座船に先頭された9隻
 の伝馬船が連なって運行しました。
 一昨年、昨年は強風により、とも旗
 が連なる勇壮な風景をみることはで
 きませんでした。今年には風に恵ま
 れ、9本のとも旗、そして丸旗が穏
 やかな春の海風を受けてたなびいて
 いました。

祭りを終えた小木港は、イカ漁の
 出港の時期を迎えます。

かかしの応援を背に 歩いた、走った！



福池大会長に宣誓をする山本君と、正木さん

第31回を迎えた、猿鬼歩こう走ろう健康大会が5月7日に開催されました。今年のゲストランナーは「世界一足の速い神主」として知られるロサンゼルスオリンピック陸上400メートルハードル日本代表選手の大森重宜さんが参加し、大会を盛り上げました。天候に恵まれ1,398人の方が県内外から参加。開会式では柳田小学校6年の山本龍之介君と正木菜々美さんが力強く選手宣誓をしました。昨年、実行委員会が初めて設置した



開会式であいさつをする大森さん



かかしが参加者に好評だったため、今年は大幅に増やし、500体もの「かかし」が参加者を力強く応援し、楽しませました。

日本陸連公認のコースで自分の記録に挑戦する人、里山の風景を楽しみながら健康を意識し歩く人など、それぞれが町花である「深紅の花」とキリシマツツジが咲き誇る彩り豊かな自然のなかで爽やかな汗を流しました。

第31回猿鬼歩こう走ろう健康大会結果

丸数字は順位。氏名(所属・住所)、時間の順に記載

第1部 ハーフマラソン 高校生～49歳男子

①和田瞬(白嶺小中学校) 1:13:22②池野一成③石切大樹

第2部 ハーフマラソン 50歳以上男子

①宮崎忠勝(北陸電力) 1:20:30 ②多間利一③井村義宏

第3部 ハーフマラソン 高校生以上女子

①高橋貴絵(H・Sクラブ) 1:29:23 ②木村真由美

③田尻典子

第4部 10km 高校生～49歳男子

①竹森賢生(輪島市) 0:37:23 ②本郷孝知③盛田幹郎

第5部 10km 50歳以上男子

①大富宏一(加賀トラ) 0:37:27 ②岡田雅宏③木下孝浩

第6部 10km 高校生～49歳女子

①池崎美弥(野々市市) 0:52:00 ②西田恵③佐々木和子

第7部 10km 50歳以上女子

①小池田菜美(ジュピターRC) 0:45:39 ②堀野洋子

③池島恵子

第8部 5km 高校生～49歳男子

①竹松慧太(石川ランナース) 0:17:52 ②米澤優

③本間貴幸

第9部 5km 50歳以上男子

①米谷誠(金沢市) 0:19:13 ②水野敏博③松山和能

第10部 5km 高校生～49歳女子

①田保美穂子(珠洲市) 0:23:29 ②中谷晶子③渡辺多恵子

第11部 5km 50歳以上女子

①深津明美(あつくんず) 0:24:22 ②上田千寿代

③寺野友子

第12部 3km 高校生以上男子

①山本勝久(野々市市) 0:10:33 ②金谷陽一③川上貴史

第13部 3km 高校生以上女子

①山本英里(能登高校31H) 0:14:01②下畠奈巳③前田智香

第14部 3km 中学生男子

①中村将来(七尾中学校) 0:09:53 ②山本謙利③小山涼介

第15部 3km 中学生女子

①町優花(七尾中学校) 0:10:41 ②新野莉璃③吉田七渚

第16部 3km 小学生男子

①山口峻平(津幡 JrAC) 0:10:56②新野琉壺③野崎健太郎

第17部 3km 小学生女子

①西住萌(城山AC) 0:12:25 ②袋井海羽③杉原陽色



アトラクションで「柳中よさこい」を披露する柳田中生徒



笑顔でウォーキングを楽しむ親子連れ



農村風景の中を歩く「歩こう10㍑コース」参加者



能登高校書道部が書道パフォーマンスで会場を盛り上げた

興能信用金庫が大会運営に寄付

**猿鬼大会への協賛・応援
ありがとうございます**

4月11日に役場能都庁舎で贈呈式があり、数馬嘉雄理事長から大会運営費として60万円の寄付の贈呈がありました。興能信用金庫からは、毎年寄付があるほか、多くの職員がボランティアとして参加しています。大会は多くの皆さんの協賛とボランティアによって成り立っています。

興能信用金庫 数馬理事長から
寄付を受ける持木町長



大会の成功に
期待をよせる



のとキリシマツツジのもとで
イベント盛りだくさん

フルート・バイオリン二重奏

石井の今正広さん宅で4月29日、「のとキリシマツツジとフルート・バイオリンの二重奏」があり、多くの人が訪れました。NPO法人「のとキリシマツツジの郷」がいかわ県民文化振興基金による支援事業として実施。フルート奏者の多田由実子さんとバイオリン奏者の根来(ねごろ)かなうさんが、ライトアップされたのとキリシマツツジを背にして、童謡など13曲を演奏しました。



第5回のとキリシマ祭り



5月7日、鈴ヶ嶺の八王子社で第5回のとキリシマ祭りが開催されました。イベントにあわせて、幸せを呼ぶ花と言われるのとキリシマツツジにちなみ、結婚式が開かれました。祝福を受けたのは鈴ヶ嶺在住の坂下眞一さんと陽香さん夫妻です。2人のはのとキリシマツツジを植樹し、幸せを誓いました。